

令和7年2月定例会一般質問発言通告表

| 発言 順序 | 16 | 議席 番号 | 17 | 氏名 | 渡 辺 佳 正 議員 | 1 / 1 |
|----------|--|----------|----|--|------------|--------------------------|
| 発言項目 | | | | 要 旨 | | 答弁者 |
| 1 | 小中学校で働く多くの支援員とそれを支えるボランティアの意見・要望を現場に生かして | | | <p>(1) 特別な資格と経験が求められる特別支援教育相談員について。</p> <p>① 特別支援教育士の資格を取得するには、高額な費用と2～3年の期間が必要だと言われている。資格取得に市の助成が必要ではないか。</p> <p>② 民間企業等における同じ職種の給与を考慮した報酬額になっているか。</p> <p>(2) 気になる子や不登校（気味）のこどもを支援する不登校対策支援員とこども支援員について。</p> <p>① 不登校対策支援員は来年度から2人増えて6人になるが、不登校児童生徒100人に1人の配置基準ではまだ十分と言えないと考えるが、今後の体制整備をどう進めるのか。</p> <p>② 不登校対策支援員、こども支援員、担任教諭、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の間で十分な情報共有・連携はできているか。</p> <p>(3) 日本語指導が必要な外国人児童生徒に寄り添う外国人児童生徒支援員と日本語ボランティアについて。</p> <p>① 日本語指導が必要な外国人児童生徒の母国語別人数はどれだけか。</p> <p>② 日本語指導が必要な児童生徒が小中学校に入学・転校してくる時に、必要な支援員やボランティアが速やかに配置されて支援できているか。</p> <p>③ 外国人児童生徒にとって日本語支援とともに、学校の友だち関係や担任・校長の対応が児童生徒を支える重要な要素である。そのような環境を整えるための授業や研修を実施しているか。</p> | | 市長 副市長 教育長 関係部長 |
| 2 | | | | | | |